

ユースかわら版

カンボジアスタディツアー 2017

伏見青少年活動センターでは、8月5日(土)～10日(木)の5泊6日で、認定NPO法人テラ・ルネッサンスと共催し「カンボジアスタディツアー2017」を実施しました。10～60代まで幅広い属性の7名が参加した今回のツアーでは、戦争の負の遺産である地雷の撤去現場見学や、村落開発支援現場・孤児院の訪問、アンコールワット観光等、カンボジアの光と影に触れました。子どもが人懐っこく、大人も皆親切で優しいカンボジアに、参加者全員魅了されました。

ツアーは終わりましたが、この現実を知った上で「私たちに何ができるのか？」を帰国後の今問われています。現役教員の参加者は、実際に、自身の学校で平和学習を展開しています。センターでもツアーを受けて、下記日程で7人それぞれが見たカンボジアを報告します。ぜひ7人の“気づき”と“想い”を聞きに来てください！



カンボジアスタディツアー 2017 報告会
日時：12月16日(土) 13:30～16:30
場所：伏見青少年活動センター スポーツルームA

シェアハウス×まちづくり NPO法人 聚楽第(じゅらくだい)

京都で大学生、社会人、フリーターも合わせて8人でシェアハウスをしながら、まちづくりに関わっています。今では地域の行事があるごとにお手伝いさせていただいていますが、シェアハウスを始めた当初は地域の方々からの反応があまり良くありませんでした。地域性を大事にする京都というまちに、シェアハウスが果たせる役割はなんだろうか、と考えたのが聚楽第を始めるきっかけです。じっくり関わってみたら、こんなに居心地の良いまちも珍しいと思っています。下京区で発進したばかりですが、地域の方が気軽に立ち寄り未来について語り合えるような「場づくり」にも取り組んでいます。シェアハウスが単なる住居ではなく、地域と共に新しいアイデアを生み出すような新たなコミュニティのカタチになればいいと考えています。僕たちと一緒にまちづくり・場づくりをしませんか？

URL: <https://m.facebook.com/kyoto.jurakudai/>



ユースシンポジウム 2017「あなたと考える、これからのオトナ～大人の条件ってなんですか～」

「大人って何？」を参加者同士で語り合い、若者視点で現代の「大人観」について問い直すシンポジウムを開催します。

『響け！ユーフォニアム』原作者・武田綾乃さんによる基調講演と、参加者が自身の大人観を考える分科会を通して、若者の今について考えます。

日時：12月17日(日)
13:00～17:00
場所：下京青少年活動センター



ひろい～な×ふらっとb合同鴨川清掃

南青少年活動センターでは、9月30日(土)に清掃活動ボランティア「ひろい～な」のみんなが鴨川清掃を行いました。普段は月1回センター周辺の清掃を行っている「ひろい～な」ですが、この日は特別出張清掃。何カ月も前から計画を立ててこの日に挑みました。

「ボランティア体験事業ふらっとb」から当日ボランティアも受け入れ、計10人で七条～三条間のゴミを拾い歩きました。限られた時間で泣く泣く拾えなかったゴミもありましたが、活動を終えた後、「楽しかった」「初めて会う人ばかりだったけどすぐに打ち解けることができた」という感想をもらいました。



アートであそぼう ぷれい、ひがしやま

東山青少年活動センターでは、トリコ・Aプロデュースの企画運営のもと、若い親世代を対象にした親子プログラムを毎月1回実施しています。親子参加型のお芝居や造形遊びを手法に、楽しいふれあいを通して表現力や想像力を大事にした場です。

毎回、舞台俳優や演出家、芸大生グループが遊びの導入部分を作り一緒にふれあいながら遊びます。参加者からは遊びの広がり方を学ぶ機会にもなっていると聞いています。

アートや演劇のプロとふれることで、子どもたちには小さな頃から文化的な体験を積んでもらいたい、子育て中の若者が地域で孤立せず子育てをともに楽しんで交流できる場になれば、と企画者は話しています。また、パパママになりたての親同士や先輩ママさんとの情報交換の機会としても場を使ってもらっています。お気軽にご参加ください。



◎興味深かった内容は？(一部抜粋)

(特集) やましな 99

・青少年活動センターは関わるのがなかったけど、読んで楽しそうと思った。
・色々な人がいることを考えさせられたから。

(ユースワーク・ユースサービス) 集団を通じたユースワーク

・グループワークについて改めて理解することができた。

(高校生ページ) 転売問題を考える

・高校生が作ったという事に魅力を感じた。
・身近な問題だと思う。

(ユースかわら版)

・たくさんの方の活動を見て参加したいと思った。
・「恋ダンス」商店街をもっと盛り上げてほしい。/地域が一体化している活動でとてもよかった。/流行りに乗っておもしろい。/見てみたいと思った。
・若者のために様々な活動を行っていることが分かった。

(Topics) 学習支援事業

・中学生の自己肯定感につながる居場所になっていいと思った。
・自分が知らない所で様々な活動を行っていることがわかった。
・背景がポップで軽く読める印象、グラフィックがカラフルでかわいい。

読者の声
Vol.28



公益財団法人京都市ユースサービス協会 賛助会員「ゆうサポ会員」募集中

京都市ユースサービス協会賛助会員(愛称:ゆうサポ会員)を募集しています。

みなさまの継続的なご支援により、子どもから大人へと時間をかけて成長していく若者を、安定して支える基盤をつくるのが目的です。ご支援のほどよろしく願いいたします。

ぜひ私たちといっしょに京都の若者を支えていきましょう！

発行 公益財団法人 京都市ユースサービス協会

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町262 京都市中京青少年活動センター内

tel: 075-213-3681 fax: 075-231-1231 E-mail: office@ys-kyoto.org

HP: <http://www.ys-kyoto.org>

印刷・デザイン: 株式会社谷印刷所

